

同時発表：一般社団法人全国道の駅連絡会

令和 4 年 8 月 25 日
道路局 企画課

「道の駅」第3ステージの実現に向けた

新たな取組を開始します

～地方創生・観光を加速する拠点への進化を推進～

国土交通省では、2020年から2025年までを「道の駅」第3ステージと位置付け、「地方創生・観光を加速する拠点へ」進化するため、「道の駅」を核にした地方創生」及び「道の駅」の持続可能な安定運営」を目指した取組を推進しています。

第3ステージの折り返しを迎えるに当たり、今般、

- ・「道の駅」を牽引する自治体、制度を所管する国、「道の駅」内外のネットワークを持つ全国道の駅連絡会が協働し、先進的な「道の駅」で「道の駅の安定運営」と「地域全体の発展」の実現方策を探求するモデルプロジェクトを実施し、得られたノウハウの全国展開
- ・老朽化、コロナ禍など全国的な課題に対応するため、「道の駅」の底上げを図るハード・ソフトの現場支援の強化

を開始し、更なる取組の活性化を図ります。

(添付資料)

- ・別紙1 「道の駅」第3ステージの実現に向けた新たな取組

<問い合わせ先>

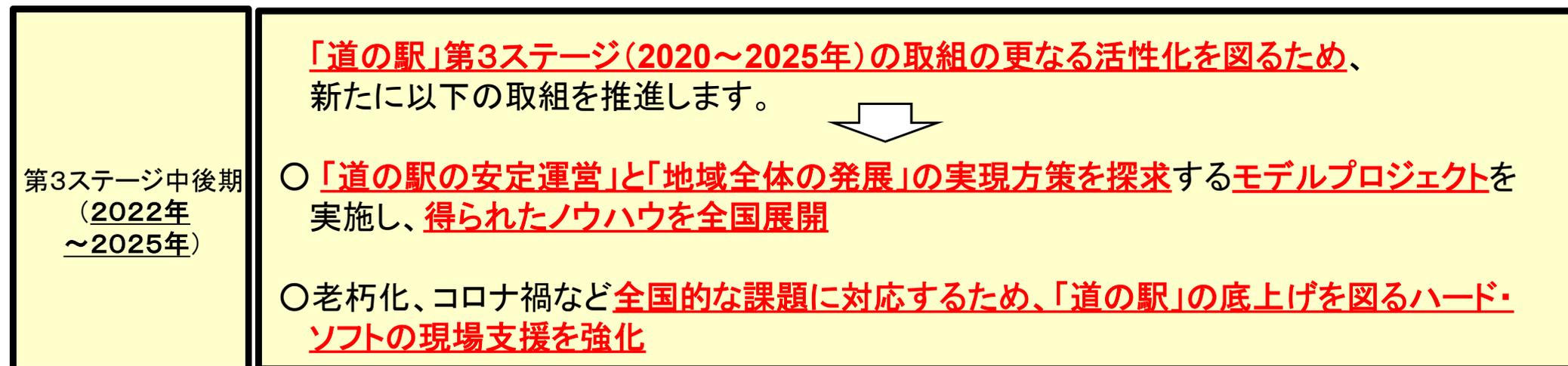
国土交通省 道路局 企画課 神田・高橋 (内線：37552、37558)

代表 (03) 5253-8111 直通 (03) 5253-8485 FAX (03) 5253-1618

一般社団法人全国道の駅連絡会 黒瀬・高橋

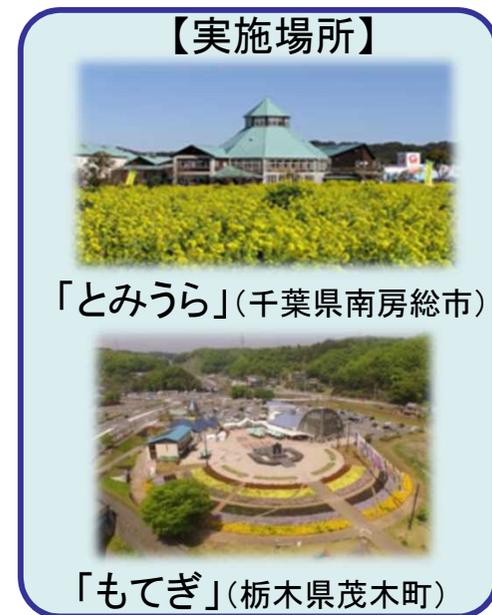
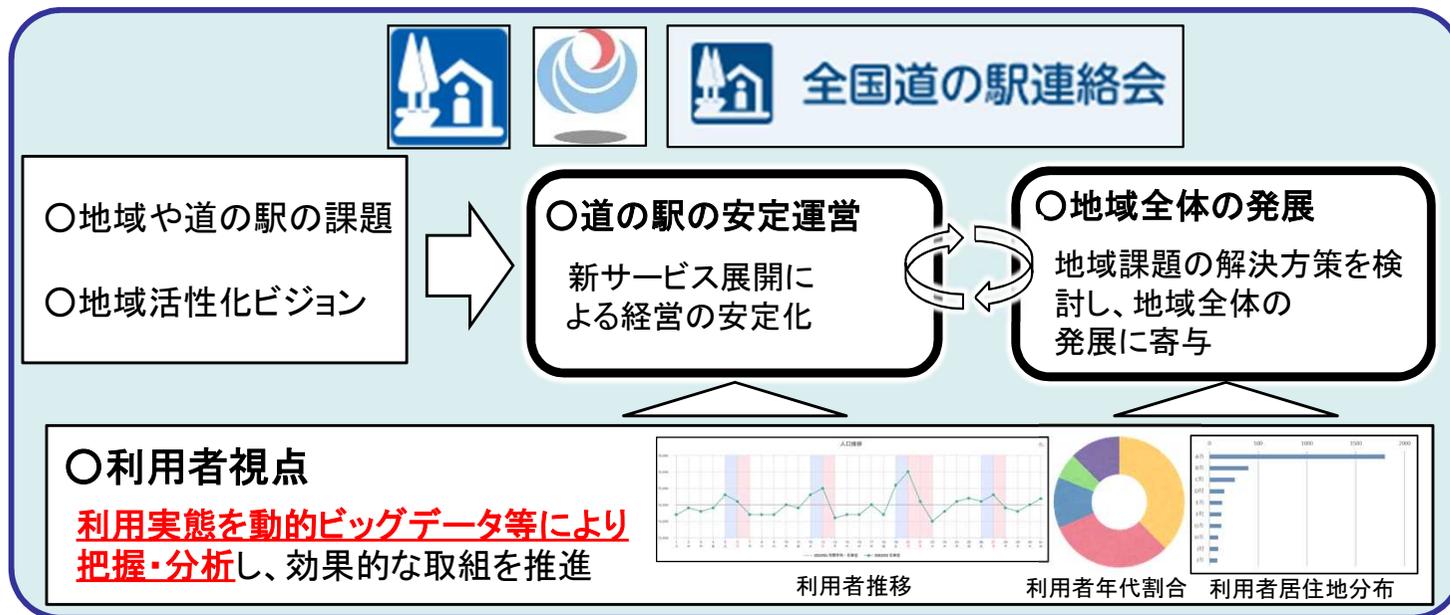
代表 (03) 5621-3188

FAX (03) 5621-3153



「道の駅」第3ステージ 新たな取組(イメージ)

○「道の駅」を牽引する自治体、制度を所管する国、「道の駅」内外のネットワークを持つ
全国道の駅連絡会が協働し、「道の駅の安定運営」と「地域全体の発展」の実現方策を探求する
モデルプロジェクト



得られたノウハウを全国展開

○老朽化、コロナ禍など全国的な課題に対応するため、「道の駅」の底上げを図る現場支援を強化

- ・現場の運営管理等の様々なノウハウを「道の駅」同士で共有
- ・モデルプロジェクトの課題を含め、幅広く現場支援方策を検討



▲売場構成を工夫し、魅力度向上



▲新しい商習慣のキャッシュレス決済



▲PFIを活用した施設のリニューアル
(道の駅「むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷」)

第3ステージの新たな取組スケジュール(想定)

取組	項目	2022年度			2023年度 以降
		第2四半期 (8月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)	
モデル プロジェクト	「もてぎ」、 「とみうら」での モデルプロジェクト の実施				2022年度の成 果・課題を踏ま え、継続
	モデルプロジェクト のとりまとめ				2022年度の成 果・課題を踏ま え、継続
	ノウハウの 全国展開				
道の駅の 現場支援	現場支援方策の 検討				
	現場の運営管理等 の様々なノウハウの 共有				